

# 野蒜復興新聞

## 野蒜まちづくり計画始動

### 各々が抱く、これからの野蒜への思い

6月21日(日)、第1回野蒜まちづくり計画策定検討委員会が開催されました。委員は野蒜まちづくり協議会の役員、支援団体等の関係団体、そして一般公募により選出された幅広い世代の方々で構成されています。野蒜まちづくり計画は、様々な課題を抱える野蒜を、地区民の皆さんで乗り越え、元氣な野蒜を目指すための計画です。

今回は第1回として、本計画の策定業務を請け負う(有)地域環境デザイン研究所の宮原博通氏から、まちづくり計画の進め方について説明がありました。同氏は、過日3月8日(日)に開催された『のびるまちづくり講演会(研修会)』にて講師として、これからの野蒜地域のまちづくりについてご講演を頂いた経緯があります。

本会では野蒜地域の抱える課題を整理し、その課題に対する共通認識の持ち方が重要であると、目標設定に向けて、委員の方々より、野蒜地域に対する夢、希望、願い、期待等を語って頂きました。また、若年層を中心とした人口減少や、高齢化等の課題へ対する

解決策の必要性を訴える委員の方もありました。9月6日(日)の第2回野蒜まちづくり策定検討委員会では、今回出された意見を元に、いよいよまちづくりの構想と整備を具体化していきます。野蒜まちづくり計画が始動します。



▲コーディネーターを務める宮原博通氏



▲野蒜地区への想いを語る委員の皆さま

**委員の皆さんから出された意見(一部抜粋)**

- ・笑顔で挨拶が交わされる野蒜。
- ・年齢関係なく運動を通じた交流。
- ・野蒜で空いた土地を活用したい。
- ・若い人たちに活躍してもらいたい。
- ・子どもたちも巻き込んだまちづくり。
- ・高齢化対策が必要である。
- ・環境を保全しつつ人口を増やしたい。
- ・六次産業をどんどんやっていきたい。
- ・何か地域ブランドを作りたい。
- ・住民が安心、安全で暮らせるように。

**野蒜まちづくり計画策定に向けたワークショップ開催のご案内**

野蒜まちづくり計画策定検討委員会では、地区民の皆さまから広くご意見を頂戴する場として、ワークショップの開催を予定しております。参加は自由です。5年後、10年後、皆さまが思い描く未来の野蒜の在るべき姿を一緒に作っていきましょう!

ワークショップ開催日(案)

第1回…平成27年9月13日(日)

第2回…平成27年11月8日(日)

※開催時間等の詳しい日程や、具体的な内容等は決定次第、随時通知いたします。

**ワークショップってなに?**

もともと「工房」とか「共同作業場」を意味するもので、試作品などを創る場のことです。先生が知識を教えるとか、決定事項を説明するという方法ではなく、参加者でグループごと懇談をしながら意見を出し合い、方向性を決める会です。

皆で楽しく未来の野蒜を考えよう!

野蒜まちづくり協議会  
イメージキャラクター  
マックん

# 野蒜北部丘陵振興協議会 二つの専門委員会が設立されました

## 第1回施設環境検討委員会

6月12日(金)、新たに設立された施設環境検討委員会の第1回目が開催されました。委員長、副委員長を含む16名から成る本会は、野蒜北部丘陵地区の主要な公共施設等の整備が具体化していく中、設計の段階から意見交換を行い、使いやすい施設や、暮らしやすい環境整備を進めるために設立されました。今後、必要に応じて確認項目を追加検討する予定です。

### 施設環境検討委員会の確認項目案

- ・ 6月～12月頃…公園・集会所等の整備(トイレの設置等)
- ・ 平成27年の中頃…道路の照明(防犯灯等)
- ・ 8月、10月頃(文化庁協議時期)…街路樹の設置、樹種等



▲第1回施設環境検討委員会の様子

## 第2回住所表記検討委員会

6月18日(木)、第2回住所表記検討委員会が開催されました。総会にて「新しい地名をつけるが、『野蒜』の地名は残し、字は付けない」という方針が了承され、本委員会では、住所表記の決定手順と、名称募集要項について協議しました。あお地区での例を元に、応募資格や応募方法等を検討し、7月中旬に公募を行う予定とされています。

平成27年												平成28年						
5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月				
総会で実施方針の検討	募集要綱の検討 名称選考委員の選定	名称募集	応募結果の選考	選考案の投票	名称案決定	役員会で承認	臨時総会で承認	市議会議案資料準備	→	市議会議決	関係機関への通知			引き渡し 第1期宅地造成完了				

▲住所表記決定手順のスケジュール(案)



▲第2回住所表記検討委員会の様子

### 野蒜北部丘陵地区

## 新しくできる街の名前を募集します！

集団移転する高台の新しい住所表記の名称を7月中旬に募集します。応募の対象は、野蒜北部丘陵地区に移転予定の方、または現在、野蒜か宮戸地域にお住まいの方です。詳しくは、市報ひがしまつしま7月15日号に掲載いたしますので、ご覧のうえ応募ください。

お問い合わせ先はこちら  
野蒜北部丘陵振興協議会

(住所表記検討委員会)事務局

東松島市移転対策部

生活再建支援課移転支援班

担当…齋藤、千葉

電話…82-11111

(内線1494)

綺麗に垂直な切り出し跡



石切り出し時に使われた階段も見られる



## 野蒜を知る旅〜野蒜石〜

東名運河沿いを歩いていると、綺麗に垂直な石壁が見られる。松島湾内の島々を形成する第三期中新統の凝灰岩は石質が均一で、加工しやすいので、昔からカマド石や、石造倉庫、石堀の材料に珍重されて、その需要が徳川時代からさかんだった。とくに野蒜〜東名間の山は良質で、これが戦中に軍需工場や兵舎用に大增産を求められ、戦後は戦後でカマド造り、農協倉庫増築ラッシュ、石堀用として空前の需要時代を迎えた。今風雨に汚れて放置されている石切場の垂直な壁はその頃さかんに切り出されたもので、あたり一帯は野蒜石景気で活気を呈し、昔は石工職人も多くいて、鳴瀬地域の大きな産業として隆盛を極めていた時代があったが、今はコンクリート等の安価な建材にかわり、使われなくなっている。(仙石線物語より一部抜粋)

